nikko

立水栓ユニット　フォギータイプA

（品番：OPB-RS-25C-LG
OPB-RS-25C-DG）

取付・取扱説明書

このたびは、日本興業の立水栓ユニットをお買い上げいただきありがとうございます。
末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いします。

組立の前に

- 設置場所に寸法的に正しく収まるかどうか確認してください。
- 梱包明細書に記載の部材、部品がすべて揃っているかどうか確認してください。
- 製品の組立は、必ずこの「取付・取扱説明書」にしたがってください。
- この「取付・取扱説明書」は、大切に保管してください。

1.モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれており、腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
2.モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
3.モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
4.施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。
5.製品の埋め込み深さは、基礎図に表示していますが、軟弱な地盤には、基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。又、寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合には凍上線の下まで基礎を設けてください。

使用上のご注意

■警告及び注意表示

⚠	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

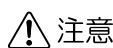
■絵記号の意味

⃠	禁止	この記号は禁止の行為を告げるものです。指示内容をよく読み禁止されている事項は絶対に行わないでください。
❗	厳守	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。指示内容をよく読み必ず実施してください。
⚠	注意	この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。指示内容をよく読み取り扱いに注意してください。

⚠警告

⃠禁止	● 本来の用途以外では使用しないでください。 ● 製品の上に人が乗ったり、ゆすったり、無理な力をかけないでください。

⚠注意

⃠禁止	● 製品の改造をおこなわないでください。
❗厳守	● 製品は水平で平らな場所に置いてご使用ください。 ● 製品は寒冷地用ではありません。凍結が予想される夜間、または長期間使用しない時は製品内の水抜きをおこなうなどの凍結防止対策をおこなってください。
⚠注意	● 製品の改造をおこなわないでください。 ● 排水管を設けない場合は、水はけのよい所や水が流れても問題ない所を選んで設置してください。 ● 汚れは中性洗剤を使用して、よく水洗いしてください。（シンナー、ベンジン類は使用しないでください。） ● 研磨剤の入った洗剤や、金属製ブラシ、スチールウールなどで磨くと表面にキズがつく場合があります。 ● 製品を廃棄される場合は、お住まいの取り決めに基づいた処理をお願いします。

梱包明細書

本体梱包品

名称		数量	仕様	形状	名称	数量	仕様	形状
立水栓カバー		1個	アルミ形材製		袋入 皿十字ドリル小ネジ	3本	φ4×16L	
袋入	ユニット取出し金具13	1個	黄銅製		施工用スチロール	2個	□15× 50×200L	
	パッキン（黒色）	1個	発泡CR製					
	パッキン（透明色）	1個	PP製		取付・取扱説明書	1個	A4：6頁	

〔立水栓を新設する場合の施工手順〕

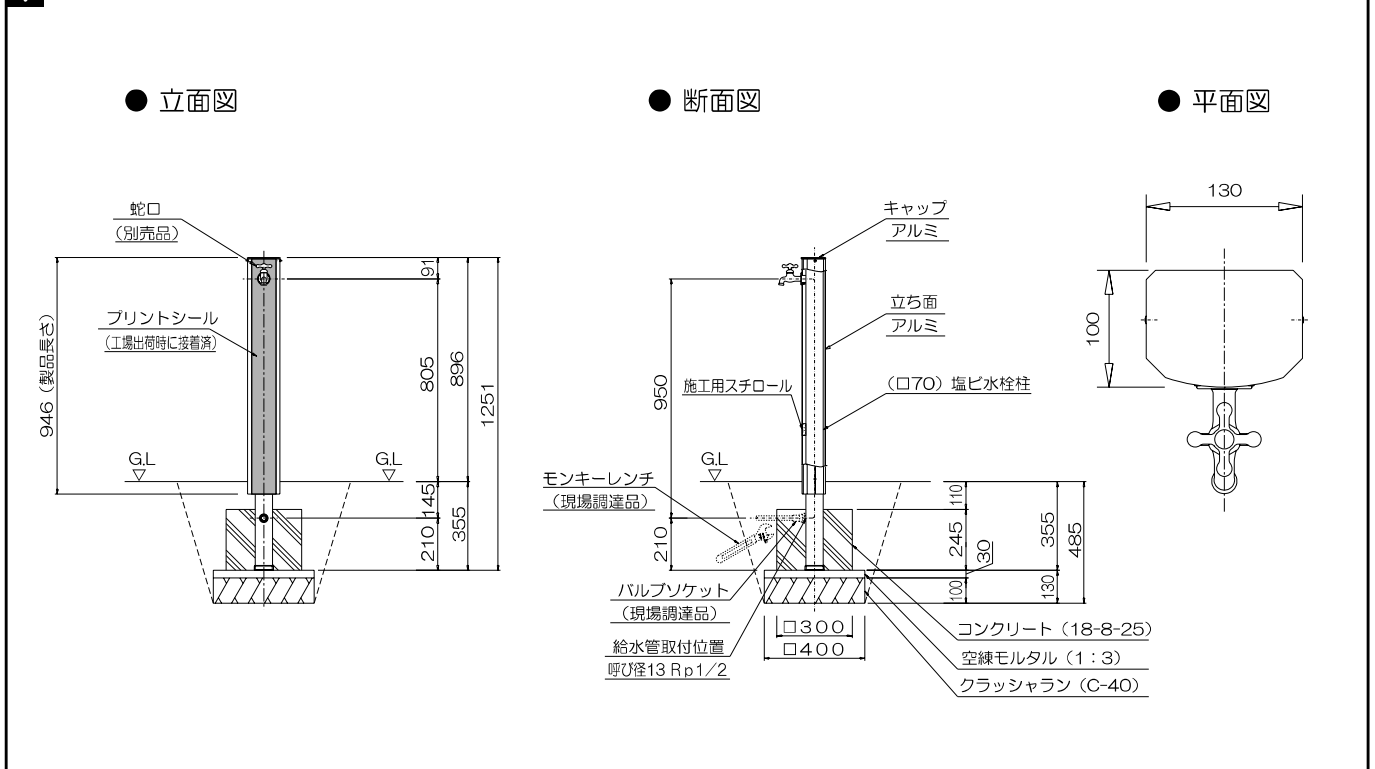
現場調達品

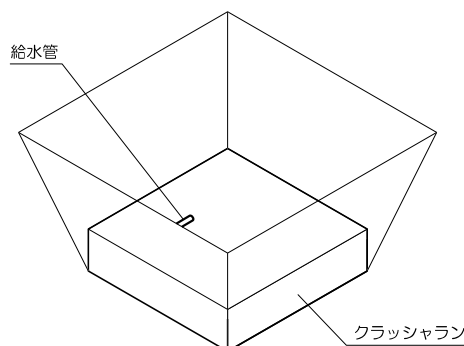
名称	数量	仕様
塩ビ水栓柱	1	呼び13 □60×1200 呼び13 □70×1200

名称	数量	仕様	形状
シールテープ	少量	－	

※施工に必要な工具や資材（スコップ、モルタル、六角棒スパナ、モンキーレンチ、電動カッター）などは別途ご用意ください。

組立手順（新設の場合）

1 据えつけ図

2 基礎工事

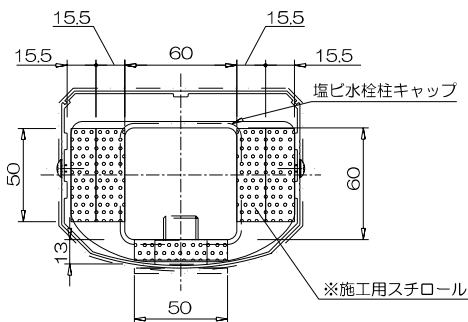
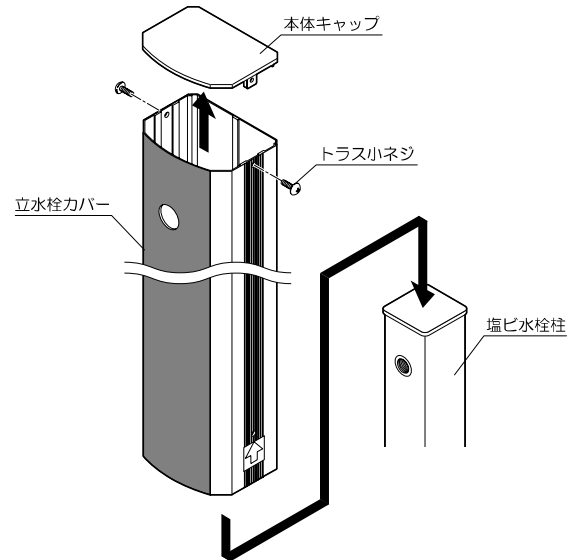
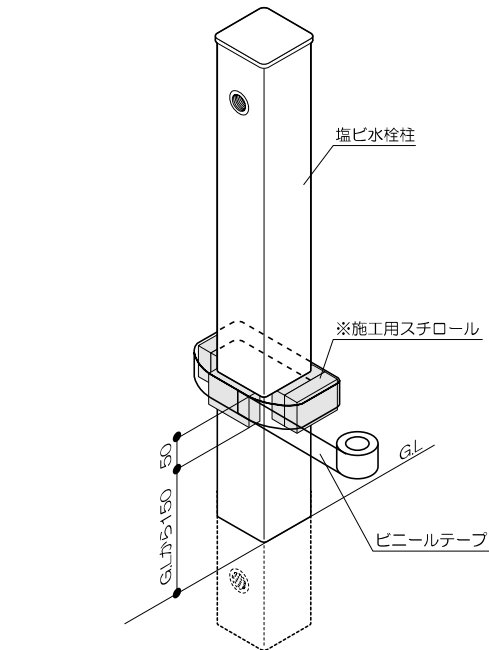
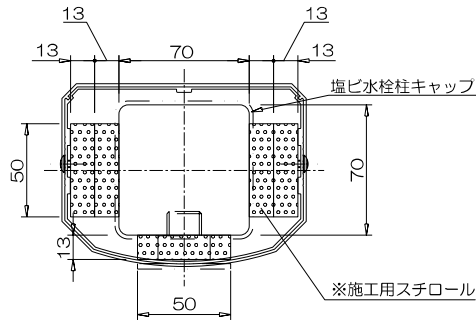
①所定の寸法で床掘りを行います。
②据えつけ図を参考に、給水管の位置を確認し、配管工事を行います。
③据えつけ図を参考に、クラッシャランを敷設します。

組立手順（新設の場合）

3 立水栓カバーの仮組

①下図を参照し、同梱スチロールで塩ビ水栓柱と立水栓カバーがガタつかないようにビニールテープ等で固定します。
※施工用スチロールは製品に同梱されています。
下の断面図を参考にカットしてご使用ください。

②本体キャップをはずし立水栓カバーを塩ビ水栓柱の上部よりかぶせます。

⚠ 垂直に取り付けてください。

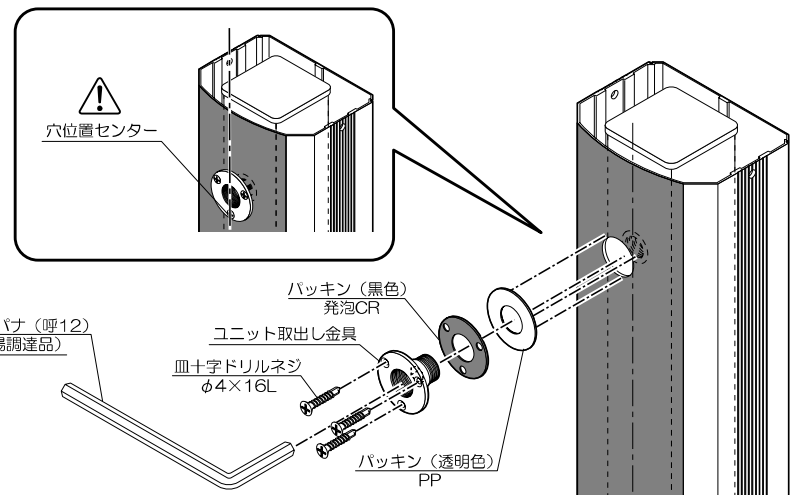
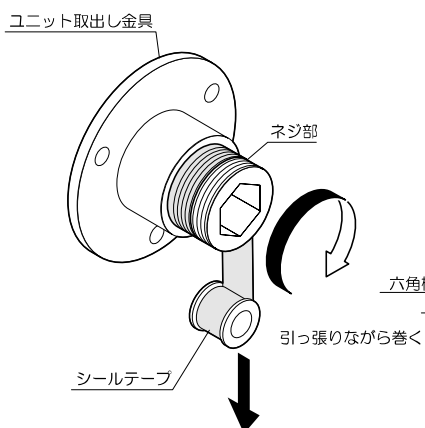
塩ビ水栓柱□60の場合

塩ビ水栓柱□70の場合

4 立水栓カバーの固定

①水漏れ防止の為、ユニット取出し金具のネジ部にシールテープを巻きます。

⚠ ネジ手前から奥に向かって、5～6周時計回りに巻いてください。

②ユニット取出し金具にパッキンを取り付け、塩ビ水栓柱と立水栓カバーを六角棒スパナ（呼び12）で共締めし、皿ドリルビスで固定します。

⚠ 電動ドライバーのトルクは低に設定し、締めすぎに注意してください。

組立手順（新設の場合）

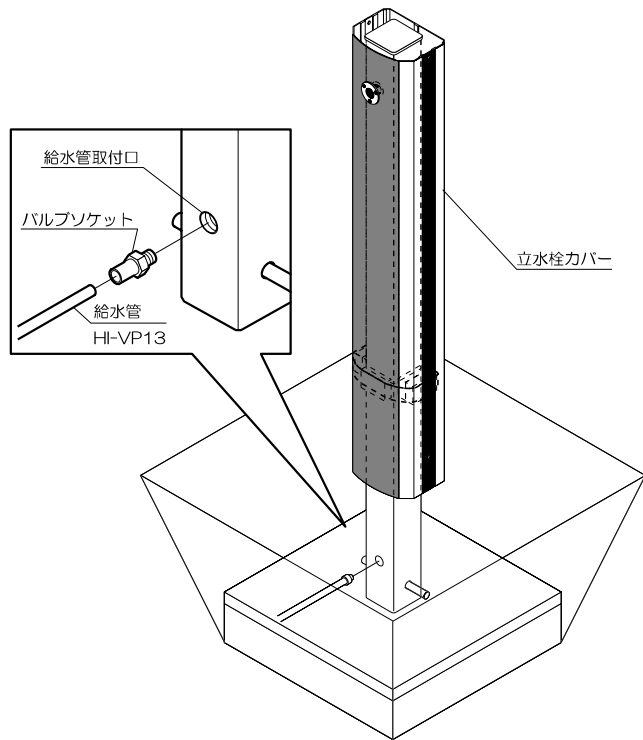
5 給水管の接続

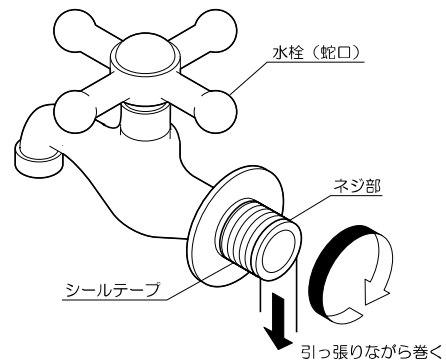
①据えつけ図を参考に立面をおきます。

⚠ 立面が倒れないように気をつけてください。

②塩ビ水栓柱立面の給水管取付口にバルブソケットを取りつけます。

③バルブソケットに給水管を取りつけます。

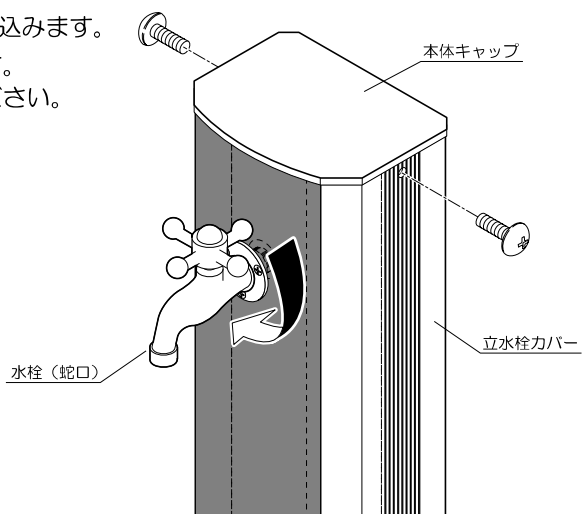
⚠ 垂直に取り付けてください。

6 蛇口の取付

①水漏れ防止の為、蛇口のネジ部にシールテープを巻きます。

⚠ ネジ手前から奥に向かって、5～6周時計回りに巻いてください。

②ハンドルが上部になる位置で止まるよう、蛇口を垂直にねじ込みます。

⚠ 締めすぎたと感じて戻しますと、水漏れの原因になります。
その場合は一度取り外し、シールテープを巻き直してください。

③本体キャップを再度とりつけます。

④元栓をゆるめ、水漏れなどがないか確認してください。

7 コンクリートの打設

①据えつけ図を参考にコンクリートを打設します。

⚠ コンクリートは、所定の強度がでるまで十分な養成期間を設けてください。

8 埋め戻し

土の埋め戻しをします。

〔既設の立水栓に取りつける場合の施工手順〕

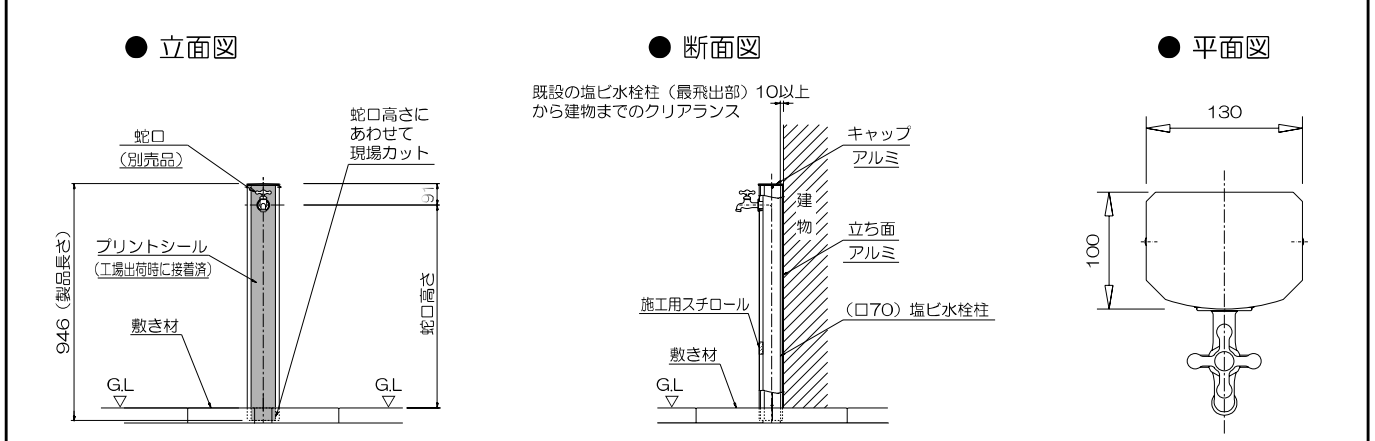
現場調達品

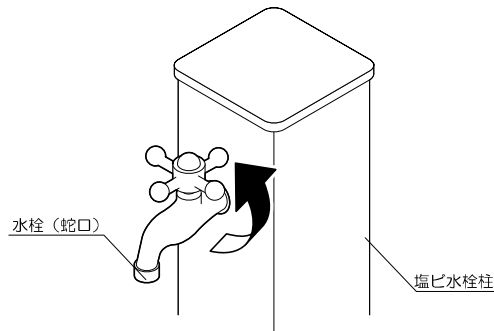
名称	数量	仕様	形状
シールテープ	少量	ー	
塩ビ水栓柱	1	呼び13 □60×1200 呼び13 □70×1200	

名称	数量	仕様	形状
φ6程度のドリル	1本	ー	

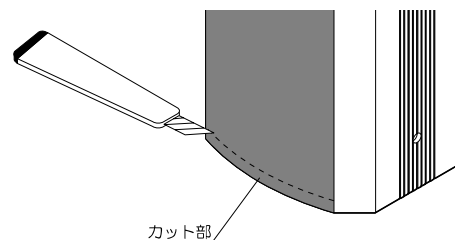
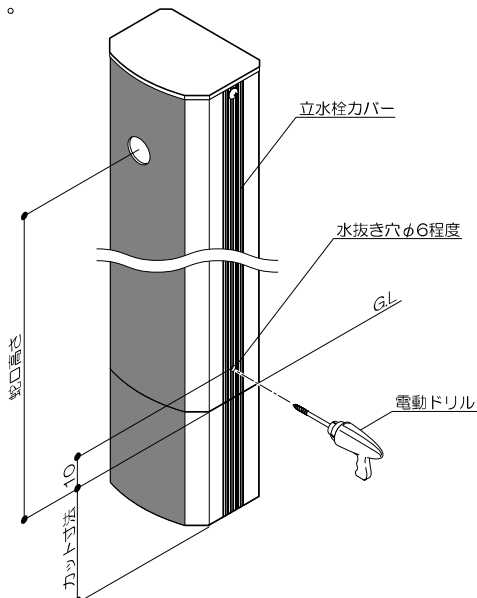
※施工に必要な工具や資材（スコップ、モルタル、六角棒スパナ、モンキーレンチ、電動カッター）などは別途ご用意ください。

組立手順（既設の場合）

1 据えつけ図

2 既設蛇口の取り外し

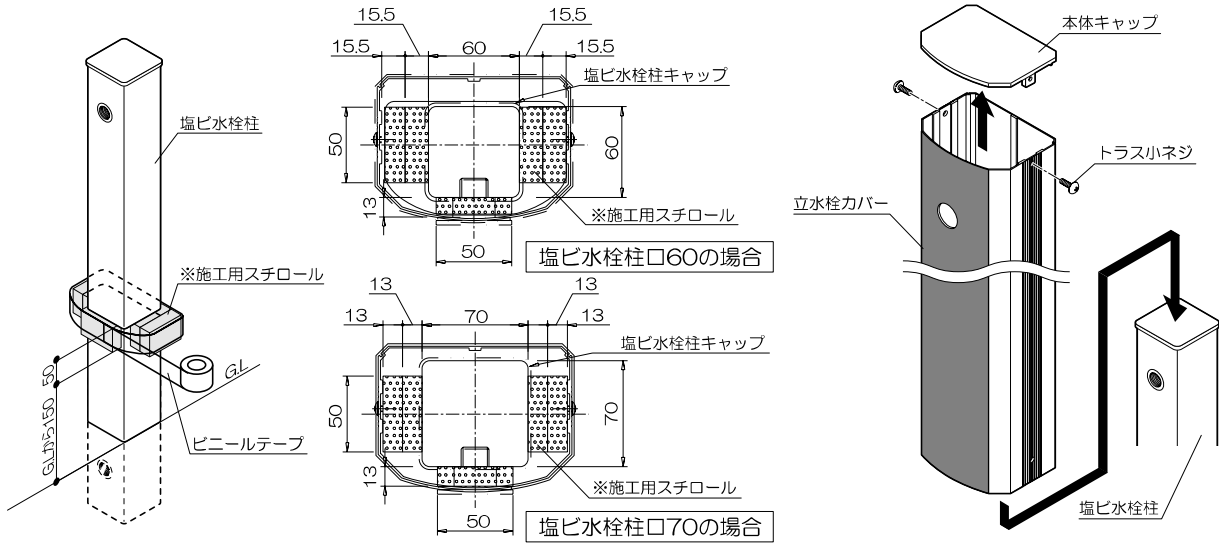
①元栓を締めて塩ビ水栓柱の蛇口を取り外します。

3 立水栓カバーのカット

①立水栓カバーを蛇口の高さに合わせてカットします。
結露などによる水たまり防止の為、立水栓側面にφ6程度の穴をあけます。

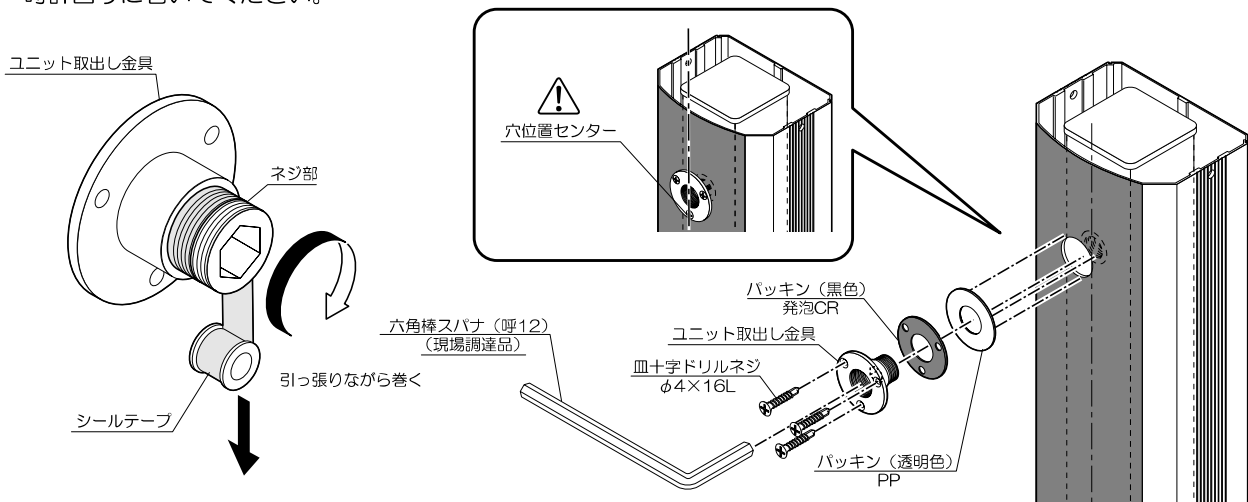
②電動カッターなどでカットした後、シールがめくれる場合はシール剥がれ防止の為、少し上でカッターで切ります。

4 立水栓カバーの仮組

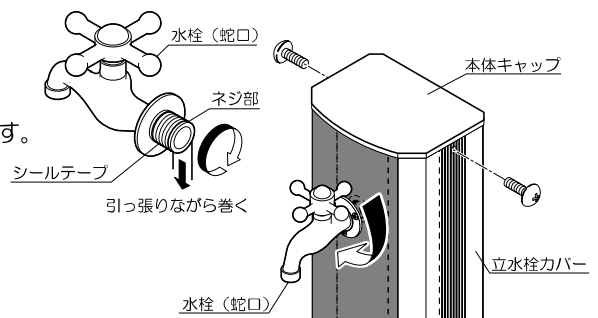
①下図を参照し、同梱スチロールで塩ビ水栓柱と立水栓カバーがガタつかないようにビニールテープ等で固定します。
※施工用スチロールは製品に同梱されています。
下の断面図を参考にカットしてご使用ください。

②本体キャップをはずし立水栓カバーを塩ビ水栓柱の上部よりかぶせます。

⚠ 垂直に取り付けてください。

5 立水栓カバーの固定

①水漏れ防止の為、ユニット取出し金具のネジ部にシールテープを巻きます。
⚠ ネジ手前から奥に向かって、5〜6周時計回りに巻いてください。

②ユニット取出し金具にパッキンを取り付け、塩ビ水栓柱と立水栓カバーを六角棒スパナ（呼び12）で共締めし、皿ドリルビスで固定します。
⚠ 電動ドライバーのトルクは低に設定し、締めすぎに注意してください。

6 蛇口の取付

①水漏れ防止の為、蛇口のネジ部にシールテープを巻きます。
⚠ ネジ手前から奥に向かって、5〜6周時計回りに巻いてください。
②ハンドルが上部になる位置で止まるよう、蛇口を垂直にねじ込みます。
⚠ 締めすぎたと感じて戻しますと、水漏れの原因になります。
その場合は一度取り外し、シールテープを巻き直してください。
③本体キャップを再度とりつけます。
④元栓をゆるめ、水漏れなどがないか確認してください。

● 製品の仕様、内容等につきましては、品質改良の為、予告なしに変更する場合があります。

日本興業株式会社

09.11